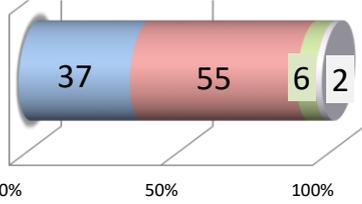


※数値は四捨五入により100%にならないものがあります。

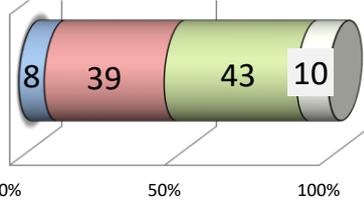
1 授業を大切に、学習内容を理解することができている。

■ア:思う ■イ:どちらかというと思う
■ウ:どちらかというと思わない ■エ:思わない



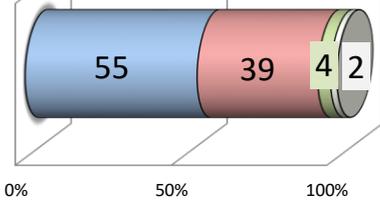
2 平日の家庭学習の時間はどのくらいですか。

□ア:2時間以上 ■イ:1時間以上～2時間未満
□ウ:1時間未満 □エ:全くしない



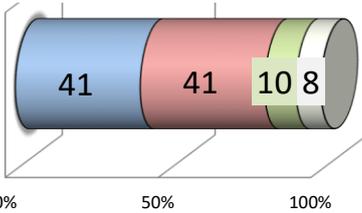
3 先生は、自分の良いところや努力を認めてくれている。

■ア:思う ■イ:どちらかというと思う
■ウ:どちらかというと思わない □エ:思わない



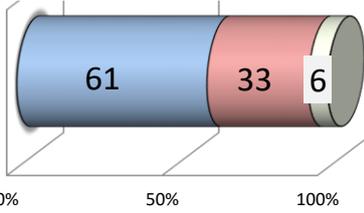
4 先生は、困ったことや悩みを相談しやすい。

■ア:思う ■イ:どちらかというと思う
□ウ:どちらかというと思わない □エ:思わない



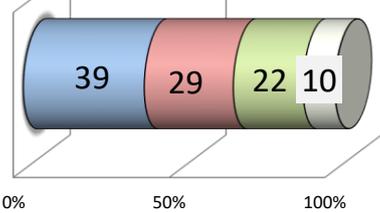
5 気持ちの良いあいさつや受け答えができています。

■ア:思う ■イ:どちらかというと思う
□ウ:どちらかというと思わない □エ:思わない



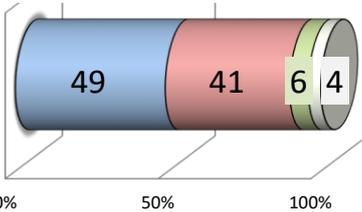
6 学校でいじめはない。

■ア:思う ■イ:どちらかというと思う
■ウ:どちらかというと思わない □エ:思わない



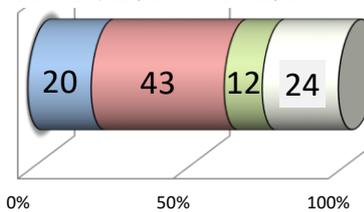
7 人権学習や道徳の時間などで学んだことを、生活に生かそうとしている。

■ア:思う ■イ:どちらかというと思う
□ウ:どちらかというと思わない □エ:思わない



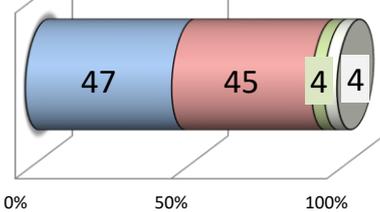
8 人権や道徳(授業で学んだことなど)について、家の人と話している。

■ア:思う ■イ:どちらかというと思う
□ウ:どちらかというと思わない □エ:思わない



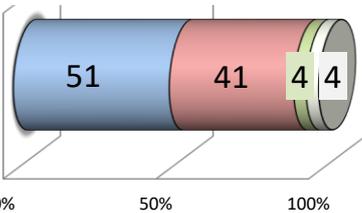
9 先生は、わかりやすい授業や生活しやすい環境づくりをしている。

■ア:思う ■イ:どちらかというと思う
■ウ:どちらかというと思わない □エ:思わない



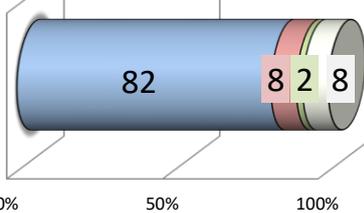
10 お互いの個性や特性をわかり合い、周りの友達と支え合うことができている。

■ア:思う ■イ:どちらかというと思う
□ウ:どちらかというと思わない □エ:思わない



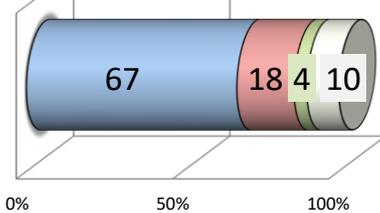
11 毎日、朝ご飯を食べている。

■ア:思う ■イ:どちらかというと思う
□ウ:どちらかというと思わない □エ:思わない



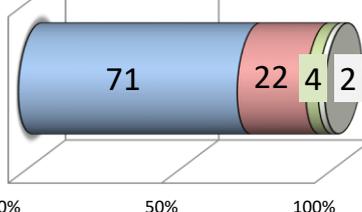
12 毎日、0時までには就寝している。

■ア:思う ■イ:どちらかというと思う
■ウ:どちらかというと思わない □エ:思わない



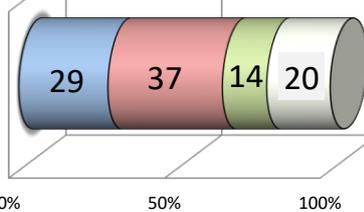
13 交通安全に気をつけて、ルールやマナーを守っている。

■ア:思う ■イ:どちらかというと思う
■ウ:どちらかというと思わない □エ:思わない



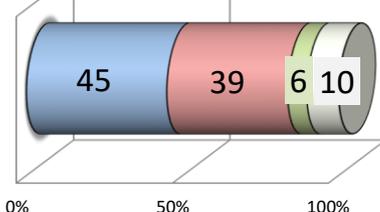
14 学校のホームページや学校(学年)だよりなどのお便りを読んでいる。

■ア:思う ■イ:どちらかというと思う
□ウ:どちらかというと思わない □エ:思わない



15 学校生活の様子などを、家の人と話している。

■ア:思う ■イ:どちらかというと思う
■ウ:どちらかというと思わない □エ:思わない



アンケートの考察（成果と課題）と今後の改善方策

【成果】

①生徒アンケート

9割以上が「授業を大切にし、学習内容が理解できている」「人権学習などで学んだことを、生活に生かそうとしている」「友達と支え合うことができている」「先生は良いところや努力を認めてくれる」「先生はわかりやすい授業や生活しやすい環境づくりをしている」と回答した。

②保護者アンケート

「学校・家庭が連携できている」が9割と高い結果が得られた。また、「子どもたちは思いやりや感謝の気持ちをもって生活している」「困りごとを学校に相談できる」「学校は個性や特性に応じた指導・支援を行っている」なども8割を超えた。

【課題】

①生徒アンケート

「いじめはない」に対して否定的な回答が3割あった。また、半数以上の生徒が「家庭学習が平均1時間未満」「全くしていない」と回答している。「人権学習などについて家庭で話す」「学校からの便りなどを読む」生徒は7割に達していない。

②保護者アンケート

「学校からHP等での情報発信」が不十分であるという結果を得た。また、4割近い保護者が「家庭学習の習慣」が十分に身につけていないと感じており、基礎学力の定着や学力向上への取組や環境づくりへの要望があった。

【今後の改善方策】

- ・いじめにつながる小さな芽を見逃ごすことなく、把握、見守り、指導を行い、解決につなげる。また、学校教育全体を通して人権教育のいっそうの推進を図る。
- ・今後も工夫、改善を加えながら、ポジティブ行動支援による自己肯定感や自己有用感の向上、授業のユニバーサルデザイン化による授業改善及び学力の向上を継続していく。
- ・授業での学びと連動した課題設定、学習方法の選択肢の提示、振り返りやフィードバックにおけるサポート等により、学習の習慣化を図り、自律的な学びにつなげる。
- ・共に考え寄り添いながら、学校と家庭が協力して教育活動に取り組む。